

神戸大学MBA(専門職大学院)Q&A 集

【MBA について】

Q1: MBA とは何ですか？

経営学修士号 (Master of Business Administration) の頭文字をとって MBA と略称される学位のことです。「修士」とは大学院の修士課程の修了者に授与される学位です。MBA とは文字通り「経営(学)のマスター」です。神戸大学 MBA は、日本でも数少ない「経営系専門職大学院」であり、神戸大学の中でも一般大学院である経営学研究科とは独立した別個のコースとなっています。神戸大学 MBA では、実務家がすぐれた理論を実践に活かし、かつ経営実践の中から新たな理論を構築すること、後押しすることをめざして、高度な教育コンテンツを提供しています。

Q2: MBA を取得するとどのようなメリットがありますか？

欧米を含む諸外国では、MBA の取得者が多く、企業のトップマネジメント、NPO などの諸団体のリーダー、さらには起業家として活躍しています。この事実は、MBA 取得は高い社会的地位、生きがいとなる仕事、そして高い報酬を獲得することにつながることを意味します。アメリカでは、大学卒業後数年間企業で働き、一生懸命貯金をして、ビジネススクールに入学する人たちがたくさんいます。成績優秀者は、初任給 1,000 万円以上の高給で雇用されることが珍しくありません。日本での MBA 教育の歴史は欧米との比較では浅く、すぐれた能力と知識を持つ MBA 取得者であっても、特別待遇されることはまだ少ないようです。とはいえ、MBA に対する社会的な評価は日ごとに高まっています。グローバル化が進む中で、優れた人材を厚遇することも一般的になりつつあります。その意味でも、MBA 取得は投資に値するといつてよいでしょう。もちろん、どのようなメリットを引き出し、実現していくかは、MBA プログラムで学ぶ一人ひとりの方々の目的意識、キャリア像、熱意と能力にも依拠します。

Q3: MBA では最新の知識が習得できるのですか？

答えは、イエスでもあり、ノーでもあります。神戸大学 MBA では、みなさんの予想をはるかに超える量の文献購読、白熱した議論、毎週のレポート提出などのハードワークが待っています。体系的なカリキュラムに沿って、これだけ頑張るのですから、当然、最新の知識を体得することができます。でも、それは決して座学だけで得られるものではありません。最新の知識も時の経過とともに陳腐化します。ですから、単に知識の獲得を目的として MBA プログラムに入学するというのは、動機として十分なものではないと考えます。知識の習得に加えて、「一を聞いて十を知る」「学び方を学ぶ」ことが大切です。神戸大学 MBA プログラムは、大学ならではのリソースをうまく活かしていただくために、特にこの点に重点を置いています。そのときそのときの最新知識を教えてくれる MBA プログラムはたくさんありますが、神戸大学 MBA は、これらのビジネススクールとは違います。知識を得てそれを実践するための知識を獲得したいと思われる方に、ぜひ入学してほしいと思います。

Q4: MBA プログラムにはどのような人が来ているのですか？

神戸大学 MBA には、働きながら学ぶ多士済々の方々が在学しています。年齢層は 20 歳代から 50 歳代まで。そこでは、会社の上司くらいの年齢の方が同級生になることも珍しくありません。企業に勤務されている人々に加えて、起業家、NPO 職員、自治体職員、企業トップ、年度によってはラグビーの元日本代表選手などもいたりします。MBA プログラムを受講するのは文系大学出身者だけではありません。最近の神戸大学 MBA では 40%以上が工学部や理学部など理系の卒業者です。会社に勤めているだけでは決して生まれることのない出会いが神戸大学 MBA プログラムにはあります。

Q5: MBA の試験を受けるには、どうすればいいのでしょうか？

詳細に関しては、ホームページの募集要項をご覧ください。詳しい応募方法が記載されています。第1次選考は、時事問題(小論文)と英語の筆記試験及び書類審査です。ここで第1次選抜が行われ、第1次選考合格者に対しては、さらに事前に提出していただいた研究計画書に基づき、第2次選考(面接試験)が行われます。ある程度の英語能力、目的意識をもって執筆された研究計画書、質問に対する的確に返答できる能力。これらがそろっていれば、神戸大学 MBA の扉を開けて、新しい世界に飛び込むことができます。ぜひ、神戸大学 MBA のプログラムがどのようなものかをご覧ください、「これこそが自分に最も適したプログラムだ」と思われた方々の受験をお待ちしています。

【MBA 入学試験について】

Q1: 夜間大学に在学し、今年度卒業見込みなのですが、昼間に勤務している場合出願できますか？

出願できます。ただし、出願時に在職していて、入学時において1年以上の実務経験が必要です。

Q2: 20年以上在職した会社を退職して、現在無職ですが出願できますか？

Q3: 専業主婦の場合は出願できますか？

出願できません。「民間企業、政府機関、自治体などに在職中(非常勤社員・職員は除く)で、入学時において…」とあるとおり在職していることが出願資格になります。神戸大学 MBA では、所属組織における職場の課題をもちよりながら、実践的な学習を行う教育コンテンツを提供しているからです。

Q4: 私は大学卒業後2年半企業で勤めた後、現在は大学院の学生をしております。大学院は来年3月の卒業見込みで、現在在職しておりません。このような場合に社会人 MBA プログラムの出願資格はあるのでしょうか？(上記の問いと類似しておりますが、この種の質問が多いため、もう一例挙げております。)

出願資格はありません。その理由は、神戸方式の MBA は、ご勤務されている会社での現実の問題を持ち寄り、議論する機会を重視するプロジェクト中心のものとなっているためです。実務経験があっても、出願時点でご勤務されていない方には、また職に就かれた段階で、ご応募いただくようお願いしております。

Q5: 出願資格に「入学時において1年以上の実務経験を持つ者」とありますが、転職したので、現在の会社の在職期間が1年に達しません。この場合は、前職と併せて、1年以上あればいいのでしょうか？

前職と併せて1年以上あれば出願できます。なお、前職と現職の在職証明書をご提出願います。

Q6: 現在休職中ですが出願できますか？

出願できます。在職証明書をご提出願います。

Q7: 自営業のため、在職証明書がありません。どうすればいいですか？

ご自身を代表者の氏名とし、会社の公印を押印し、在職証明してください。

Q8: 外国人ですが出願できますか？

出願できます。ただし、いわゆる就労ビザを取得していることが必要です。

Q9: 退職または転職を考えているので入学後無職になるかもしれないのですが出願できますか？

受験時点で有資格者であり、合格されることが前提です。その後に生じるであろう状況については、その時点で相談していただければ、こちらで対応の方法を検討します。ただし、神戸大学 MBA は退職後の生涯学習の場としてはご利用いただけません。

Q10: 第1次選考とは、書類審査のことですか。

第1次選考は、筆記試験と書類審査により選抜します。

筆記試験は、英語(60分)・時事問題小論文(60分)の2つです。書類審査は、出願時に提出された書類をもとに行います。

Q11: 入試(英語)について教えてください。

試験問題(過去問題)を参照してください。基本的な英語力の有無をみます。英語試験については TOEFL や TOEIC の基準点を満たしている方は免除されます。

Q12: 入試(英語)については、辞書の持込は許されていますか。

英和辞書1冊持込可です。ただし、電子機器の持込は不可です。

Q13: 入学の募集要項はホームページからダウンロードできますが、貴学より取り寄せる必要がありますか？取り寄せる必要がある場合は、その手続きのやり方を教えていただけないでしょうか？

印刷物はございませんので、願書等の出願に必要な書類についても、ホームページよりダウンロードいただきますようお願いいたします。

Q14: 過去問題を入手するには、どうすればいいですか。

過去問題は、神戸大学生協のコピーサービスで取り扱っております。(有料)

詳しくは、下記サイトをご確認ください。

<https://www.kucoop.jp/exam/question.html>

Q15: 学生時の成績証明書の姓と現在の姓が異なる場合、どうすればいいですか。

願書に旧姓も併記してください。

【授業について】

Q1: 授業はいつ開講していますか？

土曜日と平日夜間に授業があります。土曜日は神戸大学(六甲台キャンパス)で、平日夜間の授業はオンラインで開講しています。

Q2: 何年間で MBA をとれますか？

土曜日の授業を履修するだけで1年半の修了が可能となるカリキュラムになっています。ただし、土曜日に必修科目が開講されるため、平日夜間だけで修了することは不可能です。

Q3: 経理部に所属しており、決算時期等の業務多忙時には授業に出席できないことがあります。このような状況でも修了することは可能でしょうか？

これまでも経理部や営業部門に所属する方々も数多く神戸大学 MBA で学ばれています。業務の関係で、授業や演習への出席が困難なことがあることは承知しています。ただ、このような状況であっても、所属先からの理解を得て、出席されている方が大多数です。密度の濃い授業や演習活動があるため、一定期間お休みされると、単位の取得や修士論文の作成に支障をきたすことは事実です。本学では、集中して1年半で修了されることをお勧めしていますが、2年で修了する方法もあります。業務多忙期の通学が困難な方は、2年間の在学を前提として履修計画を立てていただくのがよいと考えます。

Q4: MBA プログラム以外の講義を受講できますか？

平日昼間は、一般大学院生向けの講義を行っています。これらの講義は希望があれば一部受講可能です。また他大学(京都大学経営管理大学院)と相互履修制度がありますので、こちらについても一部受講可能です。

Q5: 他大学院(MBA/MOT)で取得した単位を置き換えすることは可能でしょうか？

「既修得単位認定制度」がございます。入試合格後、入学手続き時にご案内いたしますが、申請に必要な書類(成績表・シラバス等)をご提出いただき、該当科目の担当教員が認め、教授会で承認された場合、単位として認められます。申請は15単位まで申請可能です。

Q6: ゼミ担当教員は選べますか？

直接選ぶことはできませんが、プロポーズする研究計画を通して、間接的に希望することはできます。

Q7: 遠方からでも通学可能ですか？ 転勤しても通学可能ですか？

東京、名古屋、福岡など、遠方から通学している学生も毎年おられます。

Q8: 入学金・授業料はいくらですか？

入学金 282,000 円

授業料 半期分 267,900 円(年額 535,800 円)

※ 上記の入学金及び授業料は、今年度入学者に適用されたもので今後改定されることもあります。

※ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

その他の情報については、神戸大学MBAプログラム HP(<https://mba.kobe-u.ac.jp>)をご参考ください。